

# 国民体育(スポーツ)大会における 環境保護・気候変動対策(令和5年度)

公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツ科学研究室  
研究員 石塚 創也

## はじめに

国民体育大会は、1946（昭和 21）年から都道府県対抗、各都道府県持ち回り方式で毎年開催される総合スポーツ競技大会であり、「広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする」ことを目的として開催されている<sup>1)</sup>。また、1961（昭和 36）年以降は、国のスポーツ基本法に定める行事の一つとして、日本スポーツ協会（以下「JSPO」と略す）、文部科学省および開催地の都道府県の三者共催で開催されている。なお、2024 年から「国民スポーツ大会」に名称が変更された。

2023 年度には、国民体育大会（夏季大会／秋季大会）は鹿児島県において特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、国民スポーツ大会冬季大会は北海道（苫小牧市）にて第 78 回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会「新たな光へ！とまこまい国スポ 2024」、山形県にて特別国民体育大会冬季大会スキー競技会「やまがた雪未来国スポ」として開催された。なお、特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」は、2020 年に開催される予定であった第 75 回国民体育大会が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期され開催されたものである。

2013 年、国民体育大会の果たす意義や価値についての再検討がなされ、「21 世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」<sup>2)</sup> が発表された。ここでは、社会情勢の変化について取り上げられ、国民体育大会に求められる視点の一つとして、スポーツ組織や競技設備の整備による「地球環境に及ぼす影響」が提示された。拙稿「[国民体育大会における環境保護・気候変動対策（令和 4 年度）](#)」<sup>3)</sup> においても提示したように、気候変動や生物多様性の損失への対応などの環境保護のための取り組み（以下「環境保護・気候変動対策」とする）を推進することは、国民スポーツ大会自体の存続にとって喫緊の課題となっている。

また、環境保護・気候変動対策を推進することは「ガバナンス」の文脈でも語れるようになっている。IOC<sup>4)</sup> は、2017 年に「IOC 持続可能性戦略 (IOC Sustainability Strategy)」を公表し、環境保護・気候変動対策に関連する内容を含む 5 つの重点項目を設定した上で、優れたガバナンスは「持続可能性 (sustainability)」を確保するための前提条件であり、ガバナンスを確保することで持続可能性に関する課題を理解でき、その解決に取り組むことが可能な組織を構築することができると捉えている。さらに国内では、2023 年に「スポーツ団体ガバナンスコード」が改定され、現在では企業等がサステナブルな経営や多様な

ステークホルダーに配慮することが要請されるようになり、環境配慮や社会課題解決も社会・経済活動の前提であることが前文に明記された<sup>5)</sup>。なお、同コードを策定するための基準の1つとなった国内上場企業のガイドライン「コーポレートガバナンス・コード」には、ステークホルダーとの適切な協働に関する内容を示した「基本原則2」の「考え方」や「原則2-3. 社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題」の「補充原則」として、気候変動などの地球環境問題への配慮が重要な経営課題であるとともに、これらに積極的かつ能動的に取り組むよう検討すべきことが示されている<sup>6)</sup>。したがって、近い将来、統括団体や競技団体、開催地組織委員会・実行委員会などのスポーツ関連団体は組織におけるガバナンス確保の観点からも主体的に環境保護・気候変動対策に取り組まなければならないと考える。

そこで本稿では、今後の国民スポーツ大会における気候変動対策の推進に資する基礎資料の提供を主な目的として、2023年度に開催された下記における環境保護・気候変動対策の調査結果を報告する。

- ・特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」
- ・第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会「新たな光へ！とまこまい国スポ2024」
- ・第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会「やまがた雪未来国スポ」

## I 特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」（以下、「かごしま国体」略す）では、昨年度開催された第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」にて発出されたような環境保護・気候変動対策に関する方針や「推進宣言」等は提示されなかったが、以下のような取り組みが実施された。

### 1. 開会式におけるパフォーマンス「生命の鼓動～鹿児島島の自然・生命の力強さを表現～」

開会式では、県内の高校生による式典演技として、「生命の鼓動～鹿児島島の自然・生命の力強さを表現～」をテーマとし、奄美群島や屋久島などの鹿児島島の自然の豊かさ、そこに宿るさまざまな生命が集まり生み出す鼓動を表現していた（資料1）。



資料1 鹿児島島の自然の豊かさを表現するパフォーマンス（筆者撮影）

## 2. 桜島の火山灰を利用したメダル

メダルには、国指定の伝統工芸品である本場大島紬の龍郷柄や薩摩焼の籠目透かし彫り、県花のミヤマキリシマなどの絵柄がほどこされるとともに、桜島の火山灰プレートが使用された（資料 2）。



資料2 桜島の火山灰を利用したメダル（天皇杯・皇后杯）（実行委員会HPより）

## 3. リユース素材を利用したバッグを制作するワークショップの開催（セーリング競技）

セーリング会場では、日本セーリング連盟環境委員会が主体となり、使い古したセールを利用してバッグを作るワークショップを、2日間で計3回開催した（資料 3）。



資料3 使い古したセールを利用してバッグを作るワークショップ（日本セーリング連盟業務執行理事永井氏提供）

## 4. ごみの分別・ごみステーション

各会場ではごみの分別がなされていた（資料 4）。また、比較的規模の大きな会場では、「ごみステーション」が設置されていた（資料 5）。



資料4 ごみの分別（筆者撮影）



資料5 ごみステーション（筆者撮影）

**5. 「省エネ行動」の推進（県民・事業所向け）**

鹿児島県の環境林務課環境林務課地球温暖化対策室は、特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」を「省エネ行動で応援しよう！」題して、県民や企業の省エネ行動を二酸化炭素排出量に換算し、開会式及び閉会式で排出される二酸化炭素排出量をオフセットする、という取り組みを実施した（資料6,7）。また、この取り組みに関しては、開会式開催日にぐりばー広場にて広報ブースが設置された（資料8）。なお、同地球温暖化対策室によれば、換算値であり、実際の削減量とは異なるものの、開会式及び閉会式では471トンの二酸化炭素が排出され、県民や企業の省エネ行動により1,060トンがオフセットされたという（資料9）<sup>7)</sup>。

**燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会**  
省エネ行動で応援しよう!  
CO<sub>2</sub>オフセット目標 **471 トン!**

「燃ゆる感動かごしま国体」がごま大会で発生するCO<sub>2</sub>をオフセットして、「地球にやさしい大会」とすることを目標として省エネ行動に取り組まよう!

**CO<sub>2</sub>オフセット目標**  
「CO<sub>2</sub>オフセット」ってなに?  
A 日々の省エネ行動を促進することを目指して、大会期間に出るCO<sub>2</sub>を省エネ行動で削減したCO<sub>2</sub>で相殺させていただきます。多くの削減や選手の方々が参加する場合はご都合式で排出されるCO<sub>2</sub> (471トン)をオフセットし、差し引き排出量がゼロになることを目指します。

1 7-10月の間に裏面の「省エネ行動チェックリスト」の12項目に取り組まよう。  
2 毎月取り組んだ結果を提出しよう。削減量がごま大会「かごしま大会」のCO<sub>2</sub>オフセットに換算されます。  
3 最初の提出後、参加場所の名称を鹿児島県のホームページに掲載します。参加場所には「CO<sub>2</sub>オフセット」(電子データ)をメールで送付します。

主 催 / 鹿児島県環境林務課地球温暖化対策室 (TEL:099-286-2586)  
《問合せ先》一般財団法人鹿児島県環境技術協会 TEL:099-284-6013  
〒891-0132 鹿児島市七尾一丁目1番地5 5F TEL:099-284-6013  
燃ゆる感動かごしま国体・燃ゆる感動かごしま大会

資料6 省エネ行動への協力を広報するポスター（鹿児島県HPより）

**省エネ行動チェックリスト**  
★毎日、省エネ行動チェックリストをチェックし、取り組んだ項目に○をつけよう!  
月 日

取組項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	達成率		
1 エアコンの設定温度を夏は26℃、冬は20℃に設定しよう。																																		
2 洗濯は必要なときだけ行おう。																																		
3 照明を必要のないときは消そう。																																		
4 テレビを視聴しないときは電源をオフしよう。																																		
5 テレビの画面は明るすぎないように調整しよう。																																		
6 テレビの電源を切ろう。																																		
7 冷蔵庫は、扉を開けすぎないようにしよう。																																		
8 冷蔵庫は、扉を開けすぎないようにしよう。																																		
9 冷蔵庫の掃除は定期的に行おう。																																		
10 冷蔵庫の扉を開いたときは扉を閉めよう。																																		
11 掃除機をかける際は掃除機を動かそう。																																		
12 使わない電気製品は電源をオフしよう。																																		
13 衣類は洗濯機で洗おう。																																		
14 シャワーをこまめに止めて。																																		
15 歯磨きや手洗いできる限り水を節約しよう。																																		
16 歯磨きする時はマイクログリーンを使おう。																																		
17 洗濯機を乾燥機にするときは、乾燥機も同時に使おう。																																		
18 車の運転は急加速・急減速の少ない走り方をしよう。																																		
19 車の発進前には必ずブレーキを踏んでからスタートしよう。																																		
20 車の運転時に必ず安全確認をしよう。																																		
21 アイドリングストップをしよう。																																		
22 反に付くときは、車から徒歩や自転車に乗り換えよう。																																		

県民の皆様ができる取り組みを紹介しています!  
鹿児島県は、県民・事業者・行政が力を合わせて、一体となって地球温暖化対策を積極的に推進することにより、2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする。カーボンニュートラルを目指しています。私たちは、地球温暖化を抑えなければならぬこと、そのためには温室効果ガスの排出量を削減する必要がありますと認識し、自分たちでできることから取り組みましょう。  
県民の皆様ができる取り組みを鹿児島県のホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。

**省エネ行動チェックリスト**  
★2050年カーボンニュートラルに向けて、下記の省エネ行動に取り組みましょう。

種別	従業員一人当たり削減量(kg/人/年)	省エネ行動チェックリスト	チェック欄
1	7.9	ゴミの分別を心がけ、プラスチックのリサイクルに努めた。	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
2	6.5	使用していないエリア(会議室・廊下等)を消灯している。	
3	5.1	昼食時間や休憩時間など執務室が明るいまわりの場合、外光を取り入れるなど、消灯を行った。	
4	8.1	執務室の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で適切な室温に調整している。【室温目安28℃】	
5	4.7	使用していないエリアは空調を停止している。	
6	5.5	長時間を離れるときはOA機器の電源を切るか、スタンバイモードにしている。	
7	10.1	発進時に、ふんわりアクセル「fスタート」を行っている。【5秒間で20km/h程度に加速した場合】	
8	3.5	加速減速の少ない運転を心がけている。	
9	2.2	早急のアクセルオフを心がけている。	
10	2.1	アイドリングストップを心がけている。【5秒の停止で、アイドリングストップ】	
11	3.5	週1日は職員の日マイカーデー運動に取り組んだ。	
12	9.3	オンライン会議を積極的に利用し、車の利用を最小限にした。	

【CO<sub>2</sub>ダイエット】宣言事業所を募集しています!  
鹿児島県では、省エネルギー行動やエコドライブに取り組む事業所（CO<sub>2</sub>ダイエット宣言事業所）を募集し、積極的な取組を推進する事業所として鹿児島県のホームページ等で紹介します。地球温暖化防止に向けて、ぜひご参加ください。

各事業所ですべて省エネ対策に關しては、鹿児島県のホームページに公開している「温室効果ガス排出削減マニュアル」の中に詳しく記載してありますのでぜひご確認ください。

資料7 省エネチェックリスト（鹿児島県HPより）



資料8 ぐりばー広場に設置された省エネ行動広報ブース（筆者撮影）

皆さんの省エネ行動によって  
燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会の  
**CO<sub>2</sub>オフセット目標を達成しました!**

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会で発生したCO<sub>2</sub>をオフセットする皆さんの省エネ行動のおかげで、目標471トンを大きく超える削減を達成しました。目標達成は、市民・事業者の皆さんの省エネ行動による削減です。目標達成は、市民・事業者の皆さんの省エネ行動による削減です。

**CO<sub>2</sub>オフセット目標**  
目標471トンを大きく超える削減を達成  
1,060 トン!

参加者数 **2,058** 参加事業所数 **239**

Q “CO<sub>2</sub>オフセット”ってなに?  
A 日々の省エネ行動を促進することを目指して、大会期間に出るCO<sub>2</sub>を省エネ行動で削減したCO<sub>2</sub>で相殺させていただきます。多くの削減や選手の方々が参加する場合はご都合式で排出されるCO<sub>2</sub> (471トン)をオフセットし、差し引き排出量がゼロになることを目指しました。

2050年カーボンニュートラルに向けて引き続き裏面の省エネ行動チェックリストを使用し  
**省エネ行動に取り組みましょう!**

問合せ先 / 鹿児島県環境林務課地球温暖化対策室  
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号 TEL: 099-286-2586

資料9 省エネ行動の実績を広報するポスター（鹿児島県HPより）

## Ⅱ 第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会 「新たな光へ！とまこまい国スポ2024」

第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会「新たな光へ！とまこまい国スポ2024」（以下、「とまこまい冬季国スポ」と略す）では、かごしま国体と同様、環境保護・気候変動対策に関する方針や「推進宣言」等は提示されなかった。一方、エコバッグの配布（写真10）や、ごみの分別（写真11）が行われていた。また、主に競技会場間の利便性向上を目的としていたと考えられるが、選手団や大会関係者、報道員等のシャトルバスによる輸送が行われていた。



資料10 エコバッグ（筆者撮影）



資料11 ゴみの分別（筆者撮影）

## Ⅲ 第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会「やまがた雪未来国スポ」

第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会「やまがた雪未来国スポ」（以下、「やまがた冬季国スポ」と略す）では、「かごしま国体」および「とまこまい冬季国スポ」と同様、環境配慮に関する方針や「推進宣言」等は提示されなかった。一方、エコバッグの配布（写真12）や、ごみの分別（写真13）が行われていた。また、県内の観光ガイドブックを収納するクリアファイルには石灰石を原料とした環境配慮素材が使用された（写真14）。また、「とまこまい冬季国スポ」と同様、主に競技会場間の利便性向上を目的としていたと考えられるが、選手団や大会関係者、報道員、観客等のシャトルバスによる輸送が行われていた。



資料12 エコバッグ（筆者撮影）



資料13 ゴみの分別（筆者撮影）



資料14 環境配慮素材が使用されたクリアファイル（筆者撮影）

## おわりに

本稿にて提示した3大会では、環境保護・気候変動対策に関する方針や「推進宣言」等は提示されなかったが、開会式におけるパフォーマンス、エコバックの配布、ゴミの分別およびワークショップの開催など、さまざまな活動が行われた。また、かごしま国体では、市民および地元企業参加型の「省エネ活動」として、カーボンオフセットが実施された。但し、ここでは二酸化炭素排出量の削減を市民や地元企業への協力を求めるのみで、主催者が主体的に削減した情報はみられなかった。また、この削減量の数値はあくまでも市民や地元企業の自己申告によるものである。とはいえ、昨年度のとちぎ国体と同様に「見える化」が目指されつつ、一部で環境保護・気候変動対策の重要性を啓発する取り組みがみられたといえる。

やまがた冬季国スポでは、雪不足によるアルペン競技におけるコースの短縮や他地域からの雪の運搬が話題となった。2024年2月21日付の「山形新聞」は、1) 暖冬少雪および雨による融雪により、当初全長1051.5mの予定であったコースが2月19日の時点で480mに短縮され、さらに約300mに短縮せざるを得なくなったこと、2) 例年豊富な雪量を確保できるものの、冬季閉鎖中の最上東部広域農道や尾花沢市内などから約10,000㎡の雪を集め運び込んだこと、などを報じた<sup>8)</sup>。また、やまがた冬季国スポの実行委員会は、融雪により会場のトレーニングコースおよびウォームアップコースを閉鎖するとともに、コース保全の観点からリフトからスタートまでの動線についてもデラパーージュ（横滑り）で移動することを要請した<sup>9)</sup>。同22日の早朝にかけて積雪があったが、やはり十分な雪量が確保できず、土の色が滲んでいる状況であった（資料15）。とはいえ、このような状況にも関わらず、競技を実施できるようにするために尽力された関係者の皆様に感謝と敬意を表したい。

将来開催される国民スポーツ大会では、環境保護・気候変動対策に取り組み、大会が開催を重ねる毎にブラッシュアップされていくべきであり、国民スポーツ大会に関わる人々、延いてはスポーツに関わる人々が「自分事」として認識できるような啓発活動を取り入れていく必要がある。国内の動向としては、日本オリンピック委員会が、「スポーツを通じた気候行動枠組み Sports for Climate Action Framework」<sup>10)</sup>への署名を行い、二酸化炭素排出量を測定するとともに、削減目標を提示し具体的に行動することを表明した<sup>11)</sup>。



資料15 赤倉温泉スキー場（最上町）アルペンコース  
（筆者撮影）

したがって、主催者であるJSPOや開催地実行委員会等は、国民スポーツ大会自体の存続のために、かつ組織におけるガバナンス確保のためにも、前述した「スポーツを通じた気候行動枠組み」の5つ原則（表1）<sup>12)</sup>に沿った対応を行うなど、具体的なアクションを行う必要があるのではないだろうか。

表1 「スポーツを通じた気候行動枠組み」5つの原則

原則1	より大きな環境責任を担うため組織的な取り組みを行う
原則2	気候変動の全般的な影響を削減する
原則3	気候変動対策のための教育を推進する
原則4	持続可能な責任ある消費を推進する
原則5	情報発信を通じ気候変動対策を求める

## 註および参考文献

- 1) 国民体育大会開催基準要項.公益財団法人日本スポーツ協会.  
[https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kokutai/doc/kitei53\\_20220607.pdf](https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kokutai/doc/kitei53_20220607.pdf)
- 2) 21世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～.公益財団法人日本スポーツ協会.  
<https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid189.html#21世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～>
- 3) 石塚創也 (2023) 国民体育大会における環境保護・気候変動対策 (令和4年度) . JSPO 「スポーツと環境」 レポート 2022-01号. 公益財団法人日本スポーツ協会.  
[https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/supoken/doc/environment/environmental\\_reports/2022-01\\_ishizuka.pdf](https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/supoken/doc/environment/environmental_reports/2022-01_ishizuka.pdf)
- 4) IOC (2017) IOC Sustainability Strategy.  
<https://olympics.com/ioc/sustainability>
- 5) スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け> 令和5年9月29日 (改定) . スポーツ庁.  
[https://www.mext.go.jp/sports/content/20230929-spt\\_kyosport-000032114\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/20230929-spt_kyosport-000032114_1.pdf)
- 6) コーポレートガバナンス・コード ～会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のために～. 東京証券取引所.  
<https://www.jpx.co.jp/equities/listing/cg/tvdivq0000008jdy-att/nlsgeu000005lnul.pdf>
- 7) 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会のCO2オフセット目標を達成しました! (更新日: 2024年1月22日) . 鹿児島県.  
<https://www.pref.kagoshima.jp/ad02/carbon-neutral/kokutaioffset.html>
- 8) 山形新聞 (2024) 「国スポ アルペン 300メートル 異例のコース 整備協力 他県関係者も訴え」 2024年2月21日, 朝刊19面.
- 9) GS会場におけるトレーニング及びウォーミングアップコースの閉鎖について (更新日: 2024年2月17日) . 第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会山形県実行委員会.  
<https://kokuspo-ski2024.jp/index.php?syori=kyougijyuhou&pg=1>
- 10) スポーツを通じた気候行動枠組みバージョン02.0. (日本語訳:国連広報センター) . 国連気候変動枠組条約 (United Nations Framework Convention on Climate Change: UNFCCC) .  
<https://www.unic.or.jp/files/c6509b8eadff5384180a1fd439669a4b.pdf>
- 11) 「スポーツを通じた気候行動枠組み (Sports for Climate Action Framework) 」への署名について. 日本オリンピック委員会.  
<https://www.joc.or.jp/news/detail.html?id=16695df>
- 12) 前掲10.

### — 本資料の利用における留意事項 —

- 本資料は執筆者が信頼できると判断した各種データに基づいて作成されていますが、本会がその正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、本会の統一した見解を示すものではありません。本会は本資料を転載・引用したことによる結果について一切の責任を負いません。
- 学術研究目的以外で本資料の全文または一部を転載・複製する際には申請が必要になります。ご利用の際には本会までご連絡をお願いいたします。

公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツ科学研究室  
E-Mail : spolab@japan-sports.or.jp